

ふれあいサロン開設、イベントを通して商店街の結束力が強まった

長洲町商工会

| | | | |
|----------------|-------------------------------------------------|----------------|--|
| 機関名 | 長洲町商工会 | | |
| 所在地 | 熊本県長洲町大字長洲2168-2 | | |
| 電話番号 | 0968-78-0410 | | |
| 地域概要 | (1)管内人口 17千人 | (2)管内商店街数 3商店街 | |
| 事業の対象となる商店街の概要 | (1)商店街数 3商店街 | (2)会員数 55商店 | |
| | (3)空店舗率 | (4)大型店空き店舗数 | |
| 商店街の種類 | 1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. <u>近隣型商店街</u> | | |

【事業名と実施年度】

平成15年度 空き店舗対策事業

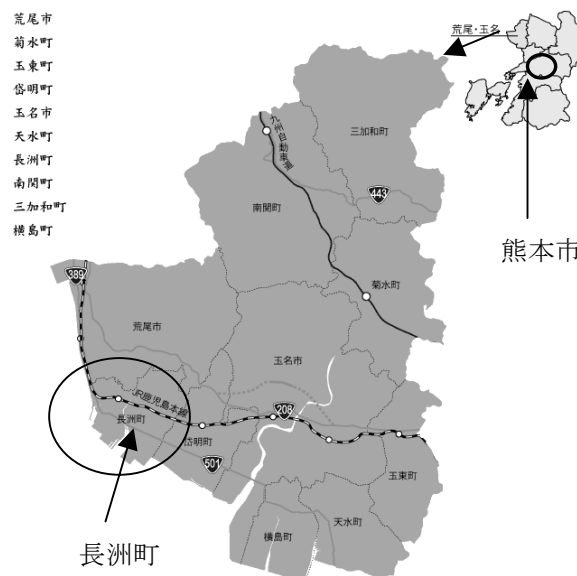
- ・チャレンジショップ事業
 - ・IT活用の情報受発信事業
 - ・ふれあいの場の提供事業
- 7,073千円

総事業費

【事業実施内容】

1. 背景

長洲町は、熊本県の北部に位置しており、西・南部を有明海に面し、対岸には島原半島を望み、北は荒尾市と隣接し、東部は県立公園小岱山を擁して、南東部を流れる行末川を境に岱明町と接した面積19.43km²の町である。道路は、国道501号線が西から東へ、国道389号線が南から北へ走り、鉄道は、JR九州鹿児島本線が北西から南東に町を走り、また、海上は長洲港と長崎県の多比良港とを結ぶ有明フェリーが運航しており、交通の便に恵まれている。有明海の恵みを受け温暖で暮らしやすい気候のもとで、豊かな自然と、工業地帯が共存する町として発展してきた。



長洲町の位置（熊本県HPより）

一方、商店街は四王子宮を中心として自然発生的に形成されてきたが、近年、地域商業の牽引役であった総合衣料品店の閉店、食品スーパーの本店移転による品揃え機能の低下から、商店街の魅力が失われつつあった。そこで、中心商店街の空き店舗を活用して、チ

チャレンジショップ事業を実施するとともに、人口の多くを占める高齢者層の交流の場を設けることにより、商店街の賑わいの再生を図ることとした。

2.事業内容

以下の施設を設置し、その中にチャレンジショップの出店スペース、情報発信スペース、ふれあいサロンを確保した。

場所：中央通り商店街内の辰巳屋跡

建物名：「ちょっと！！寄って館」

期間：平成 15 年 9 月 13 日オープン～平成 16 年 3 月 21 日

(1) チャレンジショップ事業

創業意欲のある若者や中高年の開業希望者に場所を提供して、実施の修練を積んでもらうとともに、商工会等による開業のための研修等を併せて行い、新規開業者の育成を図ることとした。

出店者募集チラシを作成し、地方紙・全国紙に折り込み広告を行った。募集 3 名に対して応募者は 3 名であったため、応募者全員を出店者として決定した。

出店者一覧

| | ①100 円ショップ | ②ウェルネス（栄養補助食品）小売業 | ③陶器製造販売業 |
|-------|-----------------|-----------------------------|---------------------|
| 出店者属性 | 51 歳・男性 | 37 歳・女性 | 64 歳・男性 |
| 応募の動機 | アンテナショップとして | 正しい栄養を 1 人でも多くの方に知っていただくために | 当地にこれという郷土玩具がなく製作した |
| 店舗名 | 100 円ショップハイジヤスト | ハーブ館 | 陶房彦 |
| 取扱商品 | 雑貨全般 | 栄養補給食品 | 陶器 |
| 販売方法 | セルフサービス | 試食、30 日お試し期間 | 展示販売 |

チャレンジショップ出店者研修

- ・ 9 月 13 日 18 時～19 時 「経営者としての心構え」
- ・ 10 月 28 日 13 時半～18 時 「ディスプレイの仕方・POP の作成」
- ・ 11 月 14 日 13 時半～16 時 「ラッピング講習会」
- ・ 11 月 26～28 日 19 時半～21 時半 「パソコンを活用した POP 作成」
- ・ 12 月 15 日 14 時～15 時 「経理講習会（経費区分、棚卸について）」
- ・ 1 月 13 日 14 時～15 時 「棚卸、決算指導等金融面について」

(2) 地域に残る伝統の遊びや工芸教室等を開催する、ふれあいの場の提供事業

金魚ちょうちん・竹とんぼ・紙鉄砲の作り方、折り紙等、小袋焼きの窯元による陶芸教室、園芸店主による園芸教室、商工会女性部によるお茶の作法教室・廃油石鹸づくり教室

長洲町商工会

等を開催した。

①ふれあいの場（ふれあいサロン）の開催状況

- ・開催回数　：合計 13 回
- ・参加人数　：合計 636 人

②パソコン教室開催

平成 15 年 9 月 13 日～平成 16 年 3 月 21 日の間の土日　計 51 回開催

| 月 | 開催回数 | 受講時間 | 受講人数 |
|----|------|------|-------|
| 9 | 6 | 12H | 45 人 |
| 10 | 8 | 16H | 62 人 |
| 11 | 10 | 20H | 81 人 |
| 12 | 5 | 10H | 46 人 |
| 1 | 7 | 14H | 65 人 |
| 2 | 9 | 18H | 73 人 |
| 3 | 6 | 12H | 29 人 |
| 合計 | 51 | 102H | 401 人 |

(3) パソコンを利用した商店街からの情報の受発信事業

備え付けのパソコンを利用した商店街の商店の一店一品や店主の紹介、土日はインターネットによる情報の受発信を行うとともに、店内において壁面を利用した商店街マップの提示や商店街情報の発信を行う。



「ちよっと!! 寄って館」の外観

【 効 果 】

1. チャレンジショップ

開店当初は、集客、売上も伸びていたが、2ヶ月目から徐々に減少し始め、待つだけの商売ではお客様の支持は得られないことが分かった。そこで、自主的に店舗の飾りつけ、陳列の工夫、手作りのチラシの配布を行い、提案の姿勢に転じた。

6ヶ月過ぎから固定客が付きだし、徐々に回復傾向になった。この経験を活かし、栄養補給食品の販売事業者と陶芸事業者の2店は、開業に向け準備をすることとなった。

2. パソコンを利用した商店街からの情報発信

開設当初は、地域の方にインターネットを利用した情報の受発信をされる方は少なかったが、5ヶ月目から小中学生を中心にインターネットによる情報の収集利用件数が増えてきた。また、商店街マップを掲載し、地域商店街の生活密着の情報を発信し好評であった。

パソコン教室に関しては、定員いっぱいを受講者を迎えることができ、教育効果は大きかったとともに、商店街への流入客の誘引となった。

有名無実となっていた商店街組織において、これを機会に有志16業者によりお客様感謝デーと銘打った大売出しを実施することができ、地域に無くてはならない商店街づくりのきっかけとなり、この企画を今後も続けていくことにした。

3. ふれあいの場の提供事業

地域自治会を中心にした高齢者向けの交流会を定期的で開催した結果、引きこもりがちな老人の集う場づくりができた。お互いのコミュニケーションの場づくりが必要であることを再認識した。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 店舗経営者に対する支援

開業予定者に対しては、商店街内での空き店舗情報の提供、開業に向けた事業計画書の策定等、きめ細かな指導、支援に取り組んでいきたい。

2. 効果的なイベントの実施

商店街の中に空き店舗は他にもあり、今後は集客の見込める時期を検討して、イベントを開催し、多くの方々に来街していただくよう努力していく。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

チャレンジショップは、創業を目指す人達には効果があると思われるが、商店街の賑わいを創出する手段としては話題性が高くないと厳しいと思われる。

【 関 連 U R L 】

長洲町商工会HP <http://www.kumashoko.or.jp/nagasu/syoukoukai/>